

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-136960(P2010-136960A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2008-317767(P2008-317767)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月30日(2011.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に設けられる始動口と、

前記始動口への遊技球の入球に基づいて、大当たりについての当落にかかる判定処理を行う大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段による判定処理にて前記大当たりが当選されたことに基づいて、遊技者に特典が付与される特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

前記大当たり判定手段による判定処理の結果に応じて、所定の表示画面にて表示される複数の画像図柄についての変動表示にかかる制御を行う演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段による変動表示にて前記複数の画像図柄がそれぞれ停止表示されたときの前記所定の表示画面にて特別な図柄組み合わせが現れたときには前記判定処理にて大当たりが当選されたことが遊技者に示唆される遊技機であって、

前記演出制御手段は、

前記複数の画像図柄によりリーチ状態が形成された後の期間において特別シーンのシーン内容を進展させるべく、それら画像図柄の背後に表示される背面画像を特別シーン用の各背面画像として順次表示する特別シーン制御手段、及び

前記複数の画像図柄によりリーチ状態が形成されるのを待たずして、前記背面画像を前記特別シーン用の背面画像として表示し、これによって前記リーチ状態が形成される前のリーチ前変動区間から前記特別シーンのシーン内容を先行進展させるシーン先行制御手段

を有しており、前記シーン先行制御手段によって前記特別シーンのシーン内容が先行進展されているときに前記リーチ状態が形成されたときは、該リーチ状態が形成されたときに表示されている背面画像に対応する前記特別シーンの中途場面からシーン内容が進展されるようとする

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記大当たり判定手段は、

前記始動口への遊技球の入球があったときに乱数を取得し、この取得した乱数に基づいて大当たりについての当落にかかる判定処理を行う

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記所定の表示画面は、液晶表示面によって形成されてなる  
請求項 1 または 2 に記載の遊技機。